散乱光光弾性応力計

model: SLP-2000

本体標準価格 ¥4,500,000

本装置は従来の導波光利用の表面応力計では測定できないLi+⇔Na+交換による化学強化ガラスの応力分布を散乱光光弾性を利用して測定可能にしました。表面付近にK+の層がある場合は導波光利用の表面応力計FSM-6000による情報と合成して断面の応力分布解析を行います。

<標準偏差> σ

型式	測定波長	CT_CV	DOL_Zero
SLP-1000	640nm	5.65MPa	2.16um
SLP-2000	520nm	1.51MPa	1.42um

・基準ガラスを20回実測した時のデータ

・測定にはその波長での屈折率、光弾性定数の値が必要

特許番号
再表2018/056121

仕　様

測定範囲	：応力値　0-2000 Mpa、応力層深さ　10-600 um
測定分解能	：応力 5 MPa　深さ 5 um
測定精度	：表面より深さ50 um以上　応力±10 MPa　深さ±5 um （基準ガラスに対して）
基準ガラスの精度	：CS ±20 MPa、DOL_Zero ±10 um
光源	：LD　520±10 nm,　18 mW　Class 3B
測定対象	：化学強化ガラス、2段化学強化ガラス、物理強化ガラス
測定形状	：平面-1000R　10×10 mm以上
プリズム屈折率	：1.518 @518 nm
PC	：専用（OS、測定ソフト　インストール済み）
対応OS	：Windows 10/11　　64 bit
寸法	：W320*D280*H220 mm（本体）
重量	：11 kg（本体）

＊FSMデータとの合成には、別途、FsmVまたはFsmX用ドングルが必要です。

ORIHARA
INDUSTRIAL CO.,LTD

□ 製造元
有限会社折原製作所
URL: https://www.orihara-ss.co.jp/